

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念はできているが、ホームの独自性を出した理念はまだできていない。	○	地域密着型サービスとしての役割を目指した内容の理念をホーム独自のものとして作成してほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者から職員へ日々の業務のなかで理念の共有と実践への取り組みについて働きかけがされているが、全ての職員が理解するまでには至っていない。		今後更なる理念の実現に向けて研さんを積んでほしい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域での「運動会」や「植木市」等に一部の利用者は参加できているが、まだ十分な交流はできていない。	○	利用者が地域住民の一人として暮らせるよう地域の行事に積極的に参加されることが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一人ひとりが自己評価に取り組み、外部評価に対しても話し合いを行い、具体的な改善に取り組み適宜運営者にも報告している。		

宮崎県都城市高崎町 グループホーム高崎ひかり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を実施して出席者から幅広い意見をもらいサービスの向上につなげている。		今後、地域に開かれたサービスとして地域包括支援センターもメンバーに入れることを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月2回、介護相談員の受け入れと介護保険更新時に市町村に職員が出向く程度である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時や金銭管理報告等の時に利用者の健康状態やホームでの状況をその都度報告している。		平成20年4月よりホーム便りの発行予定があり、徐々に家族への個別の報告ができるよう期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットの入り口にご意見箱の設置と、外部の苦情相談受付についてポスターが貼られ案内がされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内での人員の交代を最小限にしている。		できれば、職員異動の際、利用者がすぐなじむような対策を考慮されるよう望まれる。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	部内・外部研修への参加を定期的に計画・実施して、職員の質の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の加入はあるが、年に1～2回程度、研修会に参加している。	○	同業者間の交流はできているが、勉強会のみならず相互訪問され、今後更なるサービスの質の向上を目指してほしい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりサービスを利用するのではなく、事前にホームの見学や宿泊体験してから本人のペースを尊重して対応をしている。また、逆にいつでも自宅に帰れるような配慮もできている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ただ単に一緒に時間を過ごすのではなく、もう一歩踏み込んだ利用者の不安や喜びなどを知ることにも努めている。		さらに支援する側、あるいはされる側といった画一的な考えではなく本人の思いを分かち合い共に支え合う関係づくりを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で利用者と話したり、家族から聞き取りを行い本人の希望や意向を把握できるように取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族と共に本人本位の介護計画を作成し、利用者が自分らしく暮らせるようなケアが行われている。		介護記録はきちんと整備されていたが話し合いの時間が十分取れるように期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画と現状とのずれがないか本人や家族の希望や状態に応じた介護計画の見直しができている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族のニーズに応じて通院介助や送迎などに対応したり、訪問看護を活用して利用者の医療的ニーズに対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	平成19年10月より医療連携体制加算の導入を図り週2回の往診があり、適切な医療を受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの体制については家族へあらかじめ説明してある。利用者の重度化は免れない状況があるが終末期に対してはこれからの課題である。		いつでも看取りができるよう家族を含め職員間で情報を共有してほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入浴や排泄の言葉かけは他の利用者にわからないようにして、一人ひとりのプライバシーを確保し、個人情報の取扱いにも注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を優先し、利用者の望む暮らし方を支援している。夜間帯の帰宅願望時には十分に対応しきれない面もあるが、なるべく本人本位で対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人の運営上、本部より副食は配食サービスのシステムになっているが利用者の日常生活動作の低下もありテーブル拭きや下膳などを手伝っている。職員と利用者が楽しく会話しながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3～4回の入浴を午前中に行っている。利用者のニーズに即した支援体制までにはなっていないがしゅう恥心や恐怖心への配慮は行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の能力を生かして草取り、洗濯や掃除をしてもらうよう支援している。また、音楽鑑賞や風船バレー等レクリエーションにも参加してもらっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	心身の活性化につながるようスーパーでの買い物、お墓参り等支援しているが頻度が少ない。		外出できるチャンスをなるべく増やし利用者が戸外で生き生きと過ごせるようにして行ってほしい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットの玄関施錠はなく改善されているが入浴介助時や帰宅願望のある利用者への対応として鍵をかけている時間帯がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者との防災訓練は定期的に行い、夜勤時の避難に対する危険性への認識も高いが、地域の協力は得られるまでには至っていない。	○	運営推進会議を通じて徐々に地域の力を活用して行ってほしい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の少ない利用者には医師の指示で栄養補助食品で補い、栄養のバランスや水分摂取に関しては本部の栄養士と連携を取っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の作品が随所に飾ってある。また、ろうかでくつろげるようソファが置いてあり、利用者が思い思いの場所で過ごすことができるように工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたなじみの鏡や小物が置かれて利用者の個性が表れている居室もある一方、そうでない居室もみられた。		家族への協力を働きかけ居室が殺風景にならないように工夫してほしい。

※  は、重点項目。